

# Tecnomatix X 概要

2026年1月

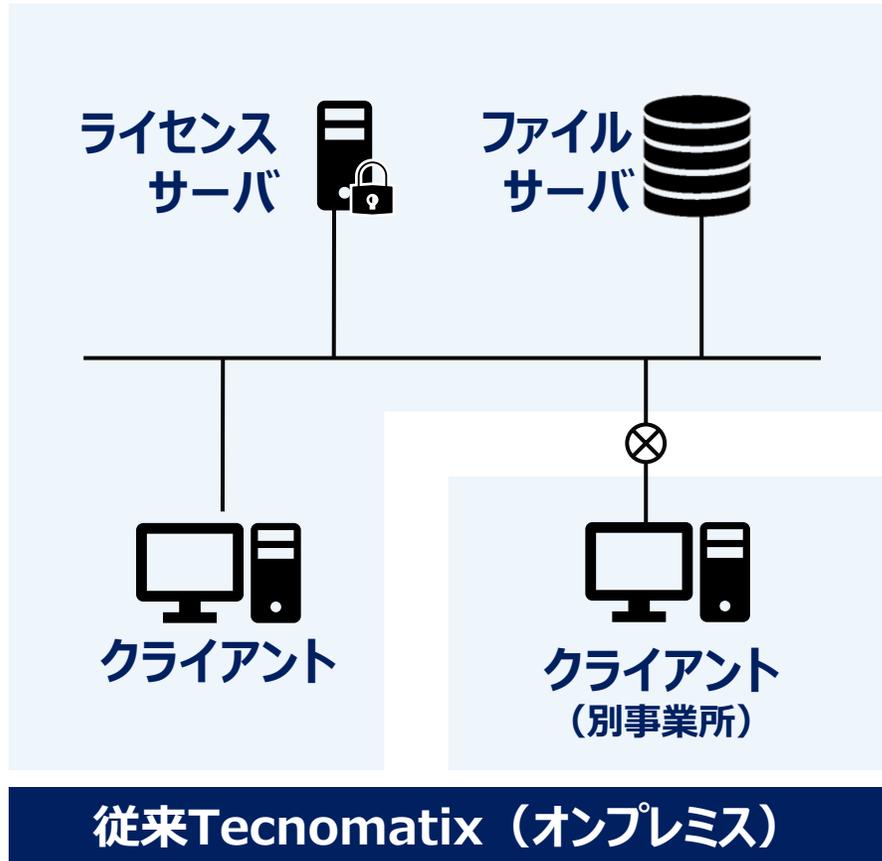
デジタルプロセス株式会社



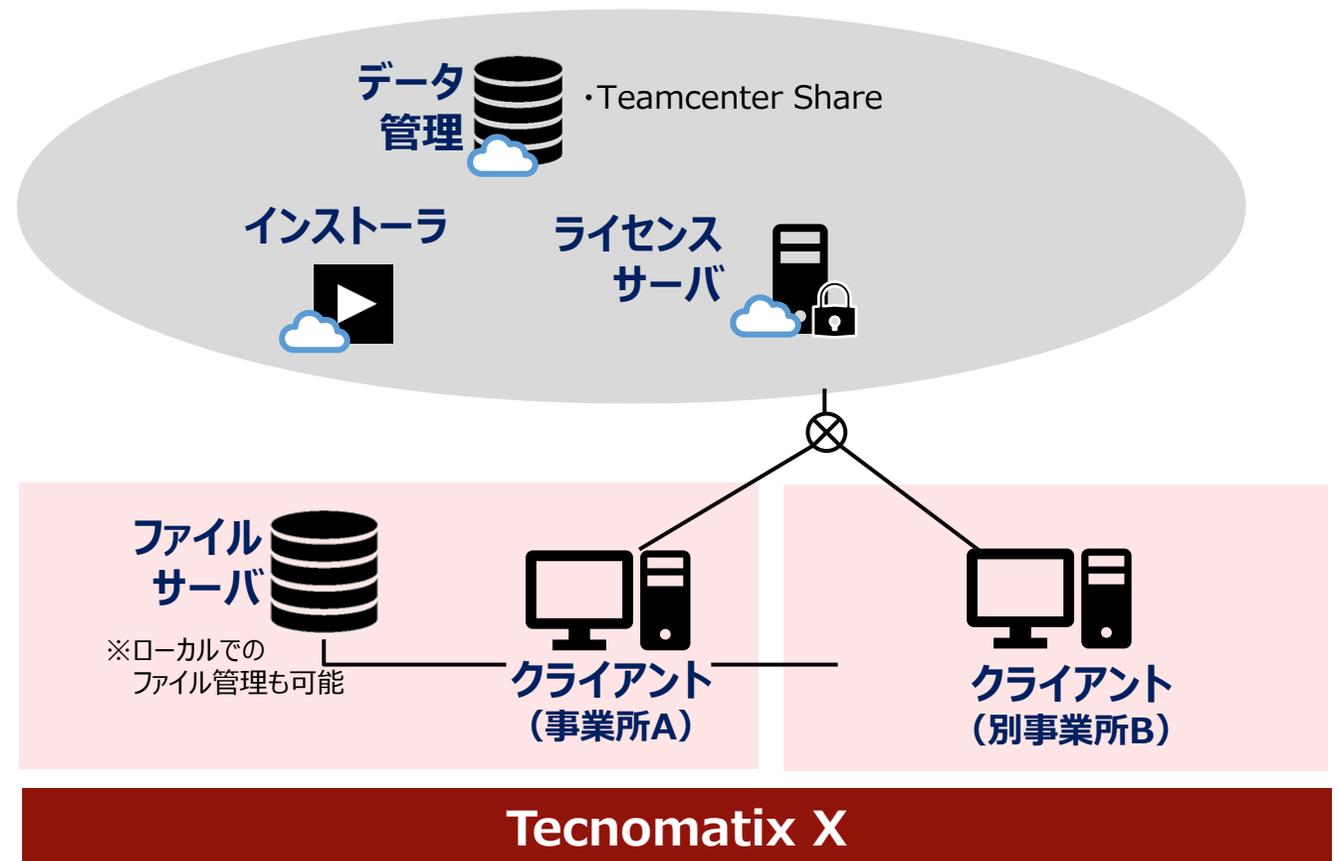
# Tecnomatix Xとは

業界をリードするデジタルマニュファクチャリングソフトウェア

「Tecnomatix (Plant Simulation、Process Simulate)」のクラウド版



お客様環境に全てのリソースを構築



インターネットに繋ぐだけで、クラウド上のリソースを使用可能

# ■ 従来Tecnomatix（オンプレミス）との違い

必要な環境をクラウド上で提供し、お客様のリソース負担を削減

|          | 従来Tecnomatix（オンプレミス）               | Tecnomatix X                              |
|----------|------------------------------------|---|
| ライセンスサーバ | お客様環境に構築が必要                        | クラウドにて提供                                  |
| クライアント   | お客様環境に構築が必要                        | お客様環境に構築が必要<br>※従来Tecnomatix（オンプレミス）と同じ。  |
| インストール   | インストーラをダウンロードして実行                  | アプリストア形式のメニューから実行<br>※アプリはクライアントにインストール   |
| ライセンス地域  | 標準：リージョン限定<br>オプション：グローバルライセンス     | 標準：グローバルライセンス                             |
| AI機能     | AI機能なし                             | Copilotによる対話型アシスタントを搭載                    |
| オプション機能  | 各機能オプションを購入                        | 一部オプション機能が標準機能として提供<br>※詳細は、機能一覧をご参照ください。 |
| ライセンス形式  | フローティングライセンス、ノードロックライセンス、ネームドライセンス | ネームドライセンス                                 |



# Plant Simulation X

# Plant Simulation X AI機能 (Copilot)



## Copilotによる対話型アシスタントを搭載し、ヘルプ検索やコーディングを効率化 【Copilotの利用イメージ】

The screenshot shows the Siemens Plant Simulation software interface. On the left is a 3D model of a factory floor with robotic arms. On the right, a Copilot window is open, displaying a help article about changing simulation model parameters. The Copilot window is annotated with four numbered callouts:

- ① プロンプトを入力 (Input prompt)
- ② 生成結果 (Generated result)
- ③ ソース (ヘルプ) (Source (Help))
- ④ 追加プロンプト (Additional prompt)

The Copilot window content includes:

一括でシミュレーションモデルのパラメータを変更する方法？

シミュレーションモデルのパラメータを一括で変更する方法は以下の通りです：

1. SimTalkメソッドを使用：
  - ツールメニューから「高度な設定」を選択し、「設定」をクリックします。
  - ダイアログボックスでオブジェクトを選択し、適用をクリックします。
  - SimTalkを使用して、実験の追加設定をプログラムできます ①。
2. 属性エクスプローラーを使用：
  - 属性エクスプローラーを開き、オブジェクトの属性を一括で変更できます ②。
3. オブジェクトのダイアログで変更：
  - 各オブジェクトのダイアログを開き、必要なパラメータを一括で変更します ②。

これらの方法を使用することで、シミュレーションモデルのパラメータを効率的に変更できます。

ソース

- ① Modify Settings in the Configuration Method
- ② Change the Settings of the Objects

関係

SimTalkメソッドの具体的な使い方は？

属性エクスプローラーの使い方について詳しく教えてください。

一括変更したパラメータを確認する方法はありますか？

ここにプロンプトを入力してください。

AIが生成したコンテンツには、不正確な情報が含まれている場合があります。

AttributeExplorer [オブジェクト]

AttributeExplorerを使用すると、シミュレーションモデル内の個々のステーションの設定を定義する属性を1つの集中的な場所で管理できます。

アイコン

説明

モデル内の各マテリアルフローオブジェクトのダイアログを開いてテキストボックスに属性値を入力する代わりに、AttributeExplorerがどのオブジェクトのどの属性これを行うには、「エクスプローラを表示」をクリックします。次に、容量や時間などの様々な値を入力します。Plant Simulationはこれらの値をオブジェクトに書き込みとしてエクスポートし、別のシミュレーションモデルのAttributeExplorerにインポートすることで、複数のシミュレーションモデルで同一の設定を使用できます！

HtmlReportでAttributeExplorerの属性テーブルを表示することもできます。AttributeExplorerの表示と比較してください。

AttributeExplorerに関する情報を含むツールチップを表示するには、マウスをその上に置きます。

グラフィックの長さやAttributeExplorerのアンカーポイントを変更するには、[編集]リボンタブの[マニピュレータの表示]をクリックするか、キーボードのMキーをシミュレーションモデルにオブジェクトを追加する

# Plant Simulation X 機能表



一部オプション機能が標準機能として提供

| 概要         | モデル作成  |         |         |               |                | 3D化      |       |    | その他   |                       |       |         |                |         |             | オプション     |          |
|------------|--|---------|---------|---------------|----------------|----------|-------|----|-------|-----------------------|-------|---------|----------------|---------|-------------|-----------|----------|
|            | オブジェクト配置   | プログラミング | パラメータ変更 | 属性<br>エクスプローラ | シミュレーション<br>実行 | 3D形状取り込み | 点群データ | VR | 統計ツール | Experiment<br>Manager | 最適化機能 | ダイアログ作成 | 外部<br>インターフェース | ガントチャート | その他<br>機能制限 | オブジェクト数制限 | VSMライブラリ |
| Advanced   | 全てのオブジェクト、ツールを利用でき、プログラミングも制限無しに利用が可能です。最適化機能も含まれます。                           | ●       | ●       | ●             | ●              | ●        | ●     | ●  | ●     | ●                     | ●     | ●       | ●              | ●       | 無           | ∞         | ○        |
| Standard   | 機能制限（使用可能なオブジェクトの制限）あり、モデルサイズは最大4000オブジェクトに制限されます。プログラミングは利用可能です。最適化機能は含まれません。 | ●       | ●       | ●             | ●              | ●        |       |    | ●     | ●                     |       |         | ●              | ●       | 有           | 4000      | ○        |
| Essentials | 機能制限（使用可能なオブジェクトの制限）あり、モデルサイズは最大500オブジェクトに制限されます。カスタムオブジェクトの作成などに適したライセンスです。   | ●       | ●       | ●             | ●              | ●        |       |    | ●     | ●                     |       |         | ●              | ●       | 有           | 500       | ○        |
| RunTime    | 他のライセンスで作成されたシミュレーションモデルの実行することが可能です。データ入出力、パラメータの変更は可能です。                     |         |         | ●             | U              | ●        |       |    | U     | U                     | U     |         | U              | U       | 有           | ∞         | U        |

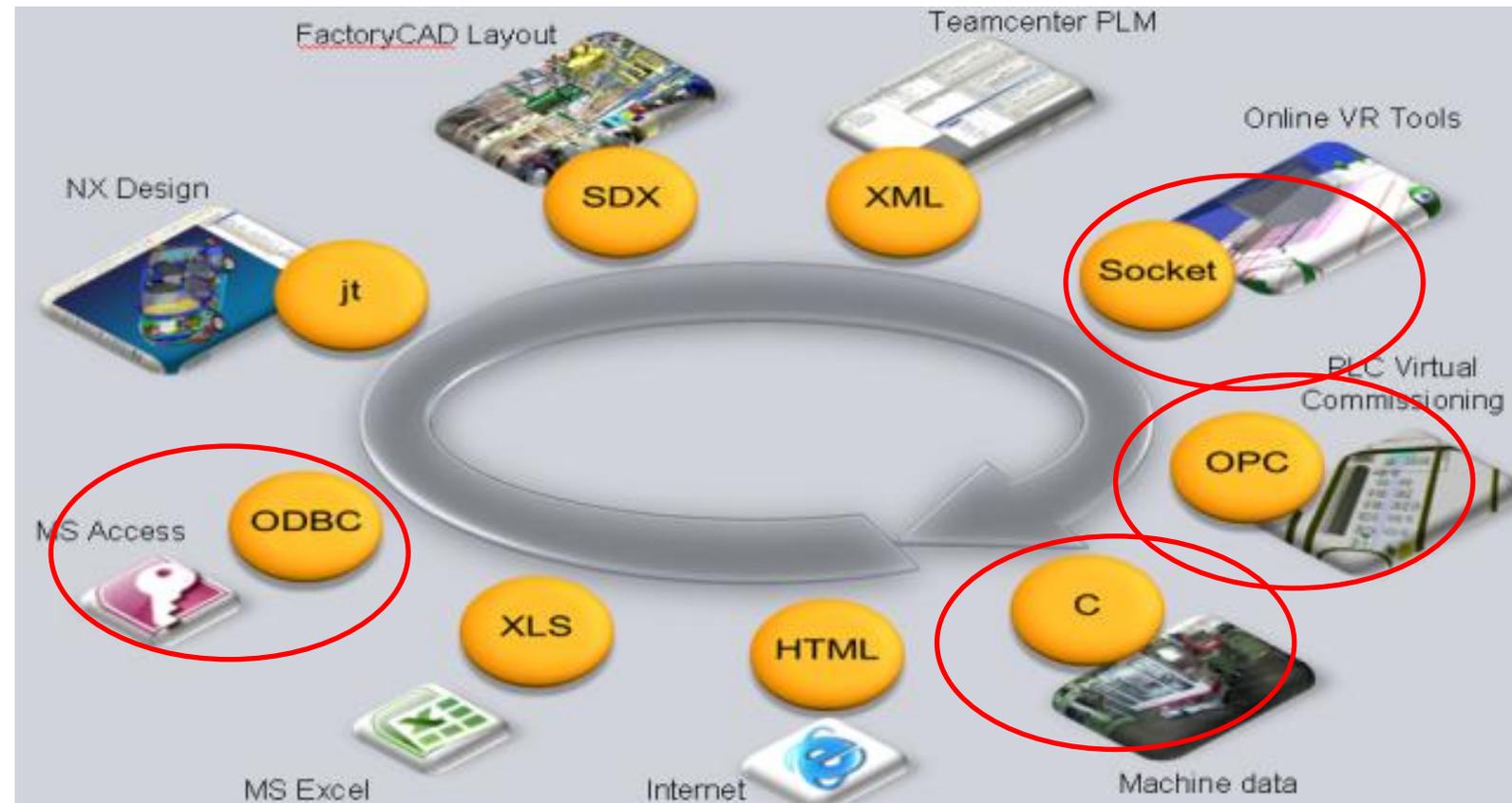
- : モデリング、使用可能
- U : 既存モデルに含まれている場合に使用可能
- : オプション

# Plant Simulation Xの標準機能

## ■ 外部インターフェース(Interface Package)

- Plant Simulationとさまざまな外部コントロールを接続することが可能です。

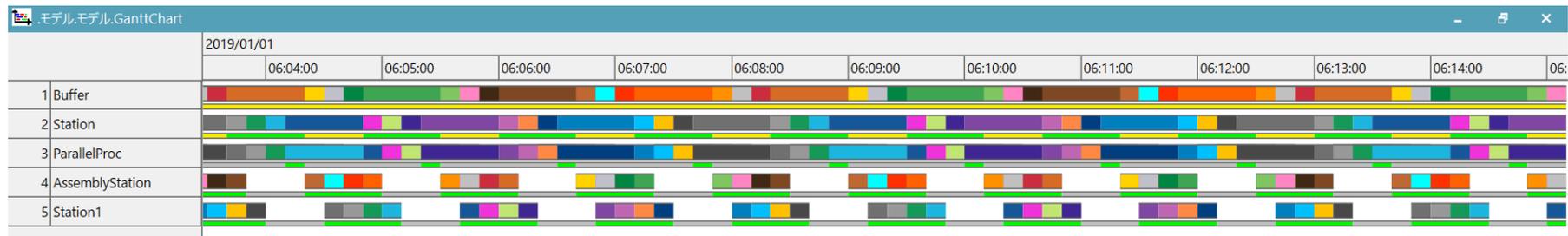
- ActiveX
- C言語
- データベース (ODBC, Oracle)
- OPC
- Socket



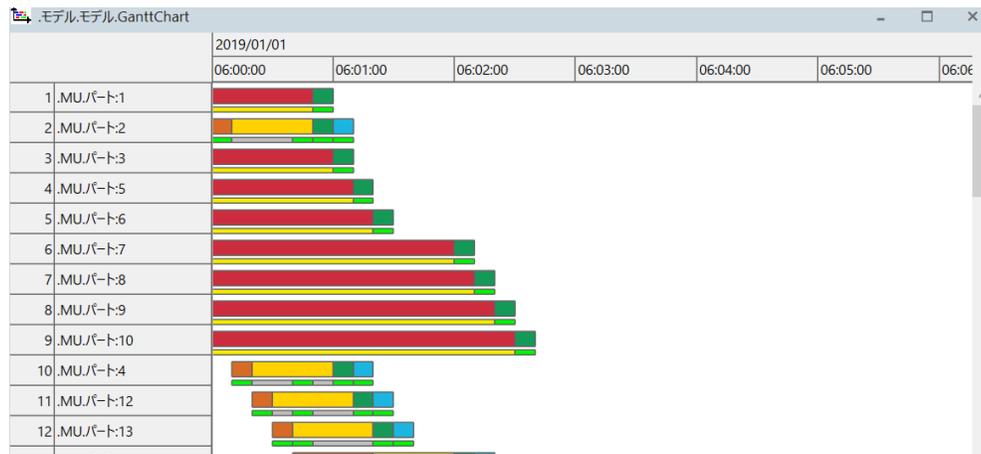
## ■ ガントチャート(Gantt Charts)

- Gantt ChartsはPlant Simulationのアドインツールで、シミュレーションデータをガントチャートで表示することができます。

### <設備（工程）単位での表示>



### <ワーク単位での表示>



お客様と共に挑戦するベストITパートナー  
それがDIPROです



**DIPRO**

ITで極めるモノづくり

**デジタルプロセス株式会社**

弊社はシーメンスデジタルインダストリーズソフトウェア（以下シーメンス）のパートナーです。本資料の一部には、シーメンスから提供された情報や画像を出典として使用しています。

関連するシーメンスの商標については、

<https://www.sw.siemens.com/ja-JP/trademarks/>

に記載されています。その他の商標はそれぞれの所有者に帰属します。